

ごあいさつ

「一人じゃないよ となりには」
(校歌の一節)

春風が心地よく、若葉の緑が芽吹き始めた季節となりました。

このたび、4月1日付けで校長として着任いたしました、渡邊 英之です。
温泉と豊かな自然に恵まれた別府の地で、新たな年度を迎えるにあたり、ご挨拶申し上げます。



大分県立別府支援学校鶴見校は、昭和56年4月に大分県立別府養護学校から分離独立し、大分県立鶴見養護学校となりました。平成22年4月には、別府養護学校及び石垣原養護学校との統合再編により大分県立別府支援学校鶴見校と校名を変更するとともに高等部を設置し、肢体不自由教育を中心とした学校となりました。

今年度の全校幼児児童生徒は、幼稚部3名、小学部4名、中学部5名、高等部6名の合計18名になります。全員が学校に隣接する別府発達医療センター内の入所施設「別府整肢園」「めじろ園」から通い、それぞれに応じた様々な活動を通じて、人や物への関わりを深めるよう毎日明るく伸び伸びと学校生活を送っています。

本校の教育目標は「児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育実践を通し、自立と社会参加を目指し主体的に学ぶに向き合い心豊かに生きていく児童生徒を育成する。」ことです。本校では、「自愛 友愛 感謝」という校訓のもと、一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導・支援に取り組んでおります。

特に、本年度は以下の3つの重点目標を設定いたしました。

- ① 児童生徒の主体的な学びを支える肢体不自由教育・病弱教育の充実
- ② 社会とのつながりや学びの連続性を意識した教育内容の改善
- ③ 子供に向き合う時間の確保を意識した働き方改革

私たち教職員は「チーム鶴見校」のもと、保護者・福祉・医療・労働・地域との連携に努め、子供たちの自立と社会参加を目指した教育活動の実践に努めてまいります。

今後とも、保護者の皆様、地域の皆様、関係者の皆様の温かいご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和7年4月1日
大分県立別府支援学校鶴見校
校長 渡邊 英之